

2016年9月発行

労働組合の職場活動に関する研究委員会報告書 —21世紀の日本の労働組合活動研究Ⅳ—

主査	橋元 秀一	國學院大學経済学部教授
副主査	萩原 久美子	下関私立大学経済学部教授
委員	木暮 弘	UA ゼンセン 流通部門事務局長
	伊東 雅代	電機連合 総合企画室事務局長
	松本 喜成	JAM 組織調査グループ副グループ長
	安藤 京一	情報労連 組織局長
	杉山 豊隆	運輸労連 中央書記次長
	佐藤 繁則	私鉄総連 組織教宣局長
事務局	龍井 葉二	連合総研副所長
〃	小島 茂	主幹研究員
〃	小熊 栄	主任研究員
〃	城野 博	研究員
〃	中野 治理	主任研究員
〃	早川 行雄	主任研究員（2013年10月～）

*なお委員および事務局の肩書きは原則として研究委員会設置当時（2012年10月）のものである。

連合総研では、「シリーズ研究・21世紀の日本の労働組合活動」として、これまでに「Ⅰ．非正規雇用労働者の組織化」「Ⅱ．労働組合の地域活動」「Ⅲ．労働協約とストライキ」の各テーマで、事例ヒアリングを実施し、それをベースにした新書版の刊行に取り組んできた。本シリーズの「Ⅳ」として、各単組の職場レベルの活動について、事例紹介と課題提起を行う。

労働組合活動の基本は個々の職場活動であるが、環境条件の変化、組合執行部の世代交代などもあって、つい最近まで日常的に行われていた活動が行われなくなり、いざ始めようとおもってもそのノウハウが伝わっていない、といった事態も起きている。本調査研究は、職場の実態把握や要求作り、労働条件交渉、組合員教育、苦情処理といった具体的な課題について、労組OB・OGを含むヒアリングを通じていくつかの事例紹介を行い、職場活動の活性化に向けた課題提起を行うことをめざしたもので、2014年3月までに5回の研究委員会を開催して本報告書を取りまとめた。

目次

序章	調査の問題意識と調査対象の概要
第1章	事例1（小売業A労働組合）
第2章	事例2（情報産業B労働組合）
第3章	事例3（製造業C労働組合C支部）
第4章	事例4（製造業D労働組合）
第5章	事例5（運輸業E労働組合）
第6章	事例6（運輸業F労働組合）
第7章	担い手とは誰か—企業別組合における「参加」と「育成」～事例から学ぶ改善策と課題①
第8章	職場活動の工夫と課題～事例から学ぶ改善策と課題②
終章	職場活動活性化の課題～職場活動を軸とした組合の再生をめざして